

上昇気流



令和3年

11月18日(木)

【No. 22】

『「ひばり中生」を目指して…』

期末考查が終わりました。今はホッとした気持ちなのではないでしょうか。今回のあなたの手応えはどうでしたか？満足する結果が残せるような努力は積めたでしょうか…。それとも、後悔する気持ちが湧き起こっていますか…。これで、中学校生活15回行われる定期考查の9回目が終わりました。次のテストは、2月の学年末考查です。そして、それが終わると…、そうです、みなさんは3年生に進級するわけです。しばしば耳にする言葉ですが、「2年生の3学期」は“3年生の0学期”という言い方があります。3年生＝受験生、と考える人が多いと思いますが、その受験生としてのスタートは、3年生の4月ではなく、2年生の1月なのだと思います。つまり、次の定期考查は、まさに“受験生としての最初のテスト”ということになるのです。本日より、今回のテスト結果が返却されると思いますが、ぜひそんなことも念頭に置きながら、結果と向き合ってほしいと思います。



さて、先週末には、令和3年度後期一斉委員会・中央委員会が開かれました。オンライン期間があった関係で、例年とは1か月遅れてのスタートとなりましたが、いよいよ2年生が学校の中心となっていくときがやってきました。どの委員会でも、新しい委員長決めが行われ、積極的にたくさんの立候補者が出てくれたようです。その意欲的な姿勢が、新しいひばり中の歴史を作っていく、原動力となってくれることでしょう。3年生を見習って、1年生とも協力しながら、より良い学校作りに励んでいきましょう！

ところで、今後、委員会活動を進める上でもそうですが、普段の生活の中で改めて意識してほしいことがあります。それは、『主体的に取り組む』ということです。みなさんには、これまでの学校生活で培ってきたものがたくさんあります。その経験や知識をもとに、先生や先輩たちの指示をもらってからではなく、“自分で判断して行動する”ことを大切にしてほしいのです。そうすることで、ひばり中は伝統が受け継がれ、より素晴らしい学校となっていくでしょうし、あなたたち一人一人も大きな成長を遂げていくことにつながるはずです。そのためには、普段から「このままでいいのかな？」「もっと良くならないかな？」「自分にできることはないかな？」…などと、現状にドップリと浸かってしまうのではなく、いろいろなことに“疑問をもつ”という姿勢を大切にしていきましょう。

2学期も残すところ、あと1か月ちょっとです。中学校生活の後半戦に突入し、みなさんには仲間と一緒に、これからもグングン成長を遂げていてもらいたいです。お互いの信頼関係を深めて、真の「ひばり中生」を目指して頑張っていきましょう！！